

少しでも長く
使いたい!

ホントは危ない? バッテリーのフル充電

最近のノートパソコンは、持ち運んで利用するモバイルパソコンやネットブックと呼ばれる小型パソコンが普及する反面、キーボードにテンキーを備え、ワイド大画面でテレビ視聴まで出来る大型ノートパソコンも増えています。大型と言ってもデスクトップパソコンよりは小さく軽いので、いざという時は持ち運ぶこともでき、デスクトップパソコンの代わりに購入する方も多いのではないのでしょうか。ところでノートパソコンを使用する時、バッテリーは装着したまま?それとも本体からバッテリーを外して使用していますか?実はこのことがバッテリーの寿命に大きく関係してくるのです。

バッテリーの寿命はあなた次第

常に持ち歩き、外出先で使用するモバイルパソコンと違い、大画面ノートパソコンは常に机の上に鎮座して、コンセントにつながれているのではないのでしょうか。「パソコンの使用中に停電になったら…」と、保険の為にバッテリーを装着している方もいるかもしれませんが、実はバッテリーを装着したままAC電源でパソコンを使い続けることは、バッテリーの寿命を短くする大きな原因になります。バッテリーには寿命があり、充電を繰り返すことにより劣化が進みます。バッテリーの寿命を少しでも長くするには、日ごろの使い方が大事なのです。

寿命を左右する3つの御法度

どうすれば、バッテリーを長持ちできるのか?それを知るにはバッテリーの大敵である3つの原因を知ることが大切です。

1. 満充電・・・ACアダプターを接続したまま使用する。
2. 過放電・・・バッテリーを使わないまま長時間放置する。
3. 高温・・・温度の高い場所に放置する。

思い当たる事はないですか?きっと満充電は多くの方がやっていることではないでしょうか。バッテリーは、時間が経つと電気が自然放電してしまいますので、ACアダプターが接続されていると放電、充電を頻繁に繰り返すことになりすし、満充電の状態が多くなります。



バッテリーをノートパソコンに装着したままお使いの場合は、**過放電**は起こらないでしょうが、これも寿命を短くする重大な原因です。使わないからといって、使い切ったバッテリーを放置しておく、いざという時充電ができないばかりか、ショートしてしまう事もあります。また、バッテリーは化学反応を利用していますが、**高温**では反応速度が高まり、やはり劣化を速くしてしまいます。

バッテリーに一番悪いのは、満充電されているバッテリーを装着したまま、ノートパソコンにACアダプターを接続して使用することです。使用中のパソコン本体はかなり高温になりますので、**満充電と高温**の2つの大敵に襲われている状態なのです。

バッテリーの寿命はたった2年?

一般的にリチウムイオンバッテリーは**最大充電回数は500回**と言われてます。毎日1回充電すれば2年以内で寿命が来る計算になります。ただ、実際には2年でバッテリーが使えなくなることはほとんどありません。寿命と言われているのは、メーカーが製造した時の最大充電容量を100とした場合、50%の容量まで落ちた状態を寿命と呼んでいるのです。

長持ちさせるには、使わないのが一番?



消耗品のバッテリーですが、購入すると1万5000円~2万円と決して安くありません。なるべく長持ちさせたいものです。そのためには、普段からの使い方に気を付けることが大事です。と言っても、難しい事ではありません。普段はACアダプターを使用して、時々外に持って出るような使い方なら、**バッテリーを50%から80%くらいまで充電させて、**

パソコンから取り外し、涼しい場所に保管しておきます。これなら、**満充電と高温**から、バッテリーを守ることができます。

使わなくても面倒は見てね!

バッテリーの寿命を延ばすには、使わない時はパソコンから取り外して保管するのが良いのですが、バッテリーは自然放電するものですから、放置しておくで電池が空っぽになってしまい、いざという時に充電に時間がかかったり、次の充電で**フル充電できなくなる**こともあります。(過放電) **数か月に一度はパソコンに取り付けて充電**をしてやりましょう。この時も満充電するのではなく、50%から80%くらいの充電で取り外して保管しましょう。ちょっとした気遣いで、バッテリーの寿命がグンと長くなります。

あなたのバッテリーはどのタイプ?

バッテリーにはいくつかの種類があります。その種類によって特性が違いますので、一度お使いのバッテリーのタイプを確認してみてください。バッテリーの種類はバッテリーパックに書いてありますよ。

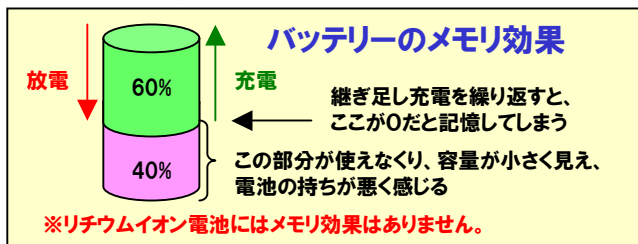
- リチウムイオン電池
- リチウムポリマー電池
- ニッケルカドミウム電池
- ニッケル水素電池

- Lithium-ion Battery (Li-ion)
- Lithium polymer battery
- Nickel-cadmium battery (NiCd)
- Nickel Metal Hydride Battery (Ni-MH)



バッテリーの容量が小さくなる?

今のノートパソコンのほとんどは**リチウムイオン電池**を採用していますが、**ニッケル水素電池、ニッケルカドミウム電池**をお使いの方は、「**メモリ効果**」という特性がありますので注意が必要です。「**メモリ効果**」とは、例えば残り容量40%の時点で充電をすると、充電した60%を満充電と記憶してしまい、その60%を使った時点で電池の残量表示が0%になり、電力を取り出せない状態になります。これは**継ぎ足し充電**を繰り返し行うことによって起こります。**ニッケル水素電池やニッケルカドミウム電池は、なるべく電池を使い切ってから充電**することが、寿命を延ばすことにつながります。メーカーによっては、「**バッテリーの初期化**」「**バッテリーのリフレッシュ**」と呼び、メモリ効果を除去する方法をマニュアルに記載してあることもあります。



付属ツールでバッテリーの管理

メーカーによっては、バッテリーの寿命を短くしてしまう満充電を防ぐためのツールが付属している場合があります。例えばソニーVAIOでは、「**バッテリーのメモリリセットモード**」があります。**バッテリーの充電量を、80%または50%に設定できるツール**で、満充電しないようにできますので、バッテリーにはとても優しいツールだと言えます。

他にも、レノボ・ジャパンのツールでは、充電開始容量と充電停止容量を設定できます。バッテリーの容量が30%を切ったら充電を開始して、80%に達したら、充電を停止するという事が設定できます。

もしかしたらあなたのノートパソコンにも、バッテリーに優しいツールが付属しているかもしれません。一度調べてみてはいかがでしょうか。



開発室から

👤 ついに1000円高速が終了してしまいましたね。すでにETC車載器の購入金額分ぐらいのモトは取れましたが、ドライブを計画していたところだったので、残念でなりません。でも、「休日特別割引」は続くそうだから、ホッとしています。